

# 当金庫について

## 当金庫の業績

### 最近5年間の業績推移

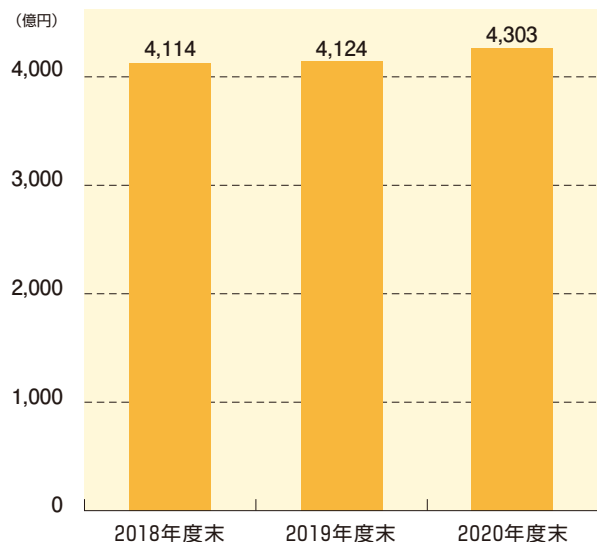
	単 位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
経 常 収 益	千円	6,318,380	5,929,621	5,881,662	5,997,973	6,050,176
経 常 利 益	千円	612,128	737,571	898,220	944,640	1,131,472
当 期 純 利 益	千円	332,538	422,289	851,845	962,380	959,712
出 資 総 額	百万円	3,404	3,403	3,420	3,420	3,397
出 資 総 口 数	千口	68,094	68,061	68,409	68,411	67,955
純 資 産 額	百万円	16,412	16,388	17,547	17,363	18,565
総 資 産 額	百万円	445,179	440,577	434,353	434,915	480,099
預 金 積 金 残 高	百万円	420,130	415,438	408,447	409,484	427,392
貸 出 金 残 高	百万円	192,012	197,640	199,549	205,156	223,531
有 価 証 券 残 高	百万円	123,337	123,090	121,707	121,534	121,048
単 体 自 己 資 本 比 率	%	8.38	8.22	8.44	8.48	8.97
出 資 対 する 配 当 金 (出 資 1 口 あ た り)	千円 (円)	92,063 (1.4)	92,084 (1.4)	92,127 (1.3)	92,570 (1.4)	91,898 (1.4)
役 員 数	人	14	13	13	13	13
うち常勤役員数	人	8	8	8	8	8
職 員 数	人	374	370	359	351	340
会 員 数	人	32,412	32,276	31,938	31,730	31,050

### 預金・貸出金の状況

預金積金残高は、法人預金の増加などにより、前年度末比179億円増加の4,303億円となりました。

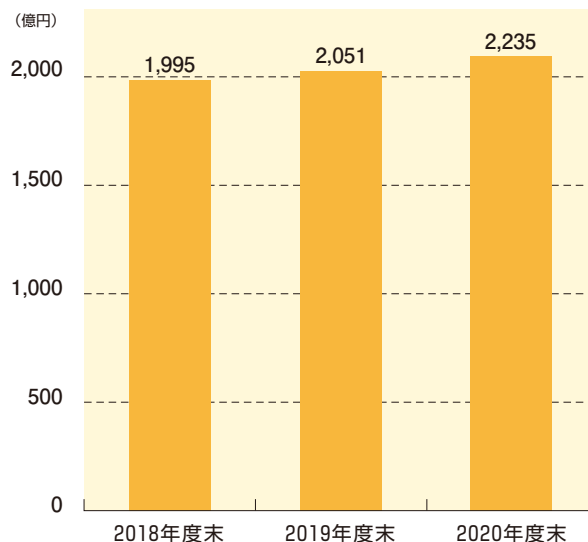
貸出金残高は、コロナ禍での資金繰り支援を最優先に地域の皆さまの課題解決や資金需要にお応えし、前年度末比183億円増加の2,235億円となりました。

#### ●預金積金の推移

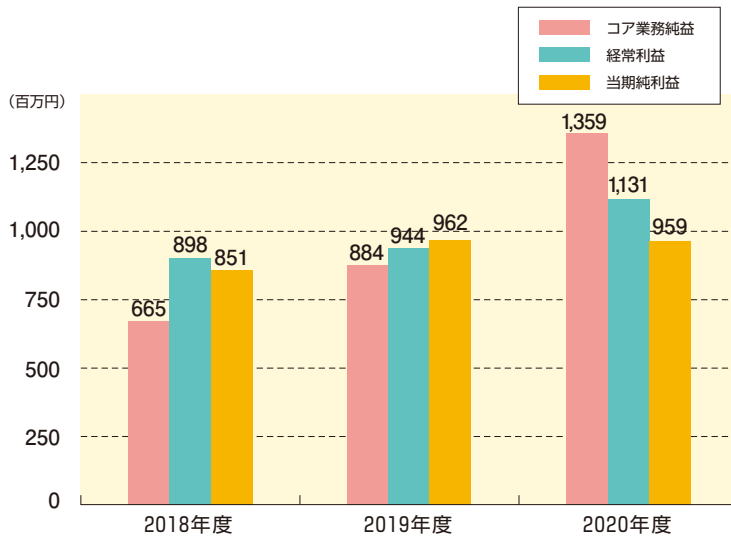


※預金積金には譲渡性預金を含みます。

#### ●貸出金の推移



## 損益の状況



貸出金利息・有価証券利息配当金が増加したことや経費削減の結果、コア業務純益は前年度比475百万円増加の1,359百万円、経常利益は186百万円増加の1,131百万円、当期純利益は横這いの959百万円となりました。

### コア業務純益とは

一般企業の営業利益にあたる業務純益から、国債等債券の売買損益など一時的な変動要因を除いたもので、より実質的な本業での収益力を表します。

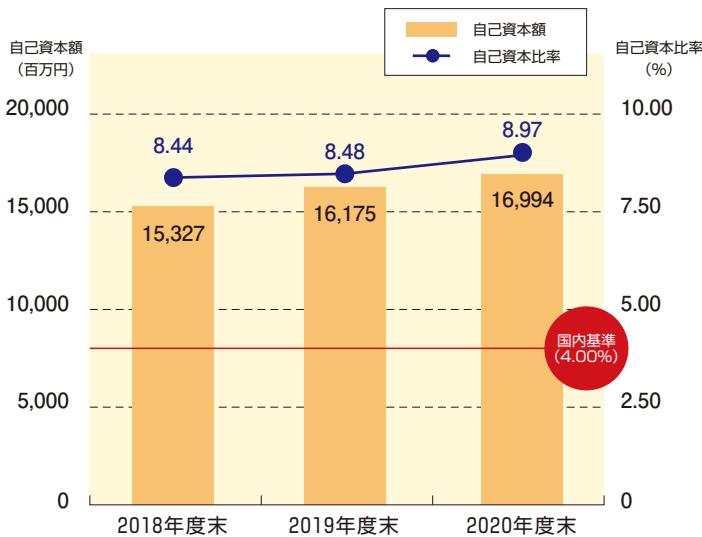
### 経常利益とは

金融機関の経常的な営業活動の成果を表すもので、金融機関の営業に通常発生する収益(経常収益)から費用(経常費用)を控除したものです。

### 当期純利益とは

経常利益に特別損益を加減算した利益から法人税、住民税及び事業税を控除し、さらに税効果会計による法人税等調整額を加減算したものです。

## 自己資本比率の状況



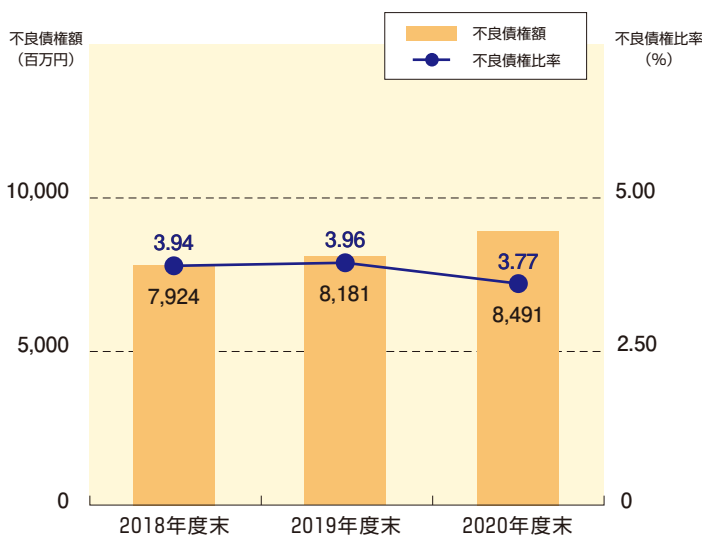
自己資本比率は8.97%と、国内で業務を営む金融機関の基準(国内基準)の4%を十分に上回る水準を確保しております。引き続き経営の健全化・効率化を推し進め、自己資本の充実を図ってまいります。

### 自己資本比率とは

自己資本額をリスク・アセット(貸出金や有価証券などの資産をリスクの度合いに応じた金額に換算して積算したもの)等の額で除したもので、経営の安全性・健全性・企業体力(リスクへの耐性)等を表す代表的な指標です。

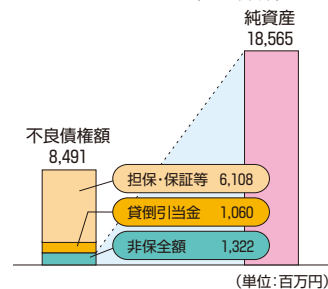
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}}{\text{リスク・アセット等}} \times 100\%$$

## 不良債権の状況



金融再生法に基づく不良債権額は8,491百万円、不良債権比率は3.77%と低水準を保っており、さらに担保や保証等でカバーするとともに、万が一の貸倒に備えて十分な引当処理をしております。

### 不良債権の保全状況 (2020年度末)



不良債権はすべてが損失につながるわけではなく、担保・保証等および貸倒引当金によりカバーされています。また、非保全部分についても純資産により十分対応できる水準となっております。

# 当金庫について

## 当金庫の概要

### 主要な事業の内容

#### 預金業務

■当座預金、普通預金、通知預金、定期預金、定期積金、納税準備預金等を取り扱っております。

#### 貸出業務

■貸付 手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っております。

■手形の割引 商業手形の割引を取り扱っております。

#### 内国為替業務

送金、振込および代金取立等を取り扱っております。

#### 有価証券投資業務

預金の支払準備および資金運用のために、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

#### 付随業務

##### ■代理業務

日本銀行歳入代理店および国債代理店業務

地方公共団体の公金取扱業務

日本政策金融公庫等の代理貸付業務

##### ■保護預りおよび貸金庫業務

##### ■有価証券の貸付

##### ■債務の保証

##### ■公共債の引受

##### ■個人向け信託商品の販売

##### ■国債等公共債および投資信託の窓口販売

##### ■保険商品の窓口販売

##### ■スポーツ振興くじの販売・払戻業務

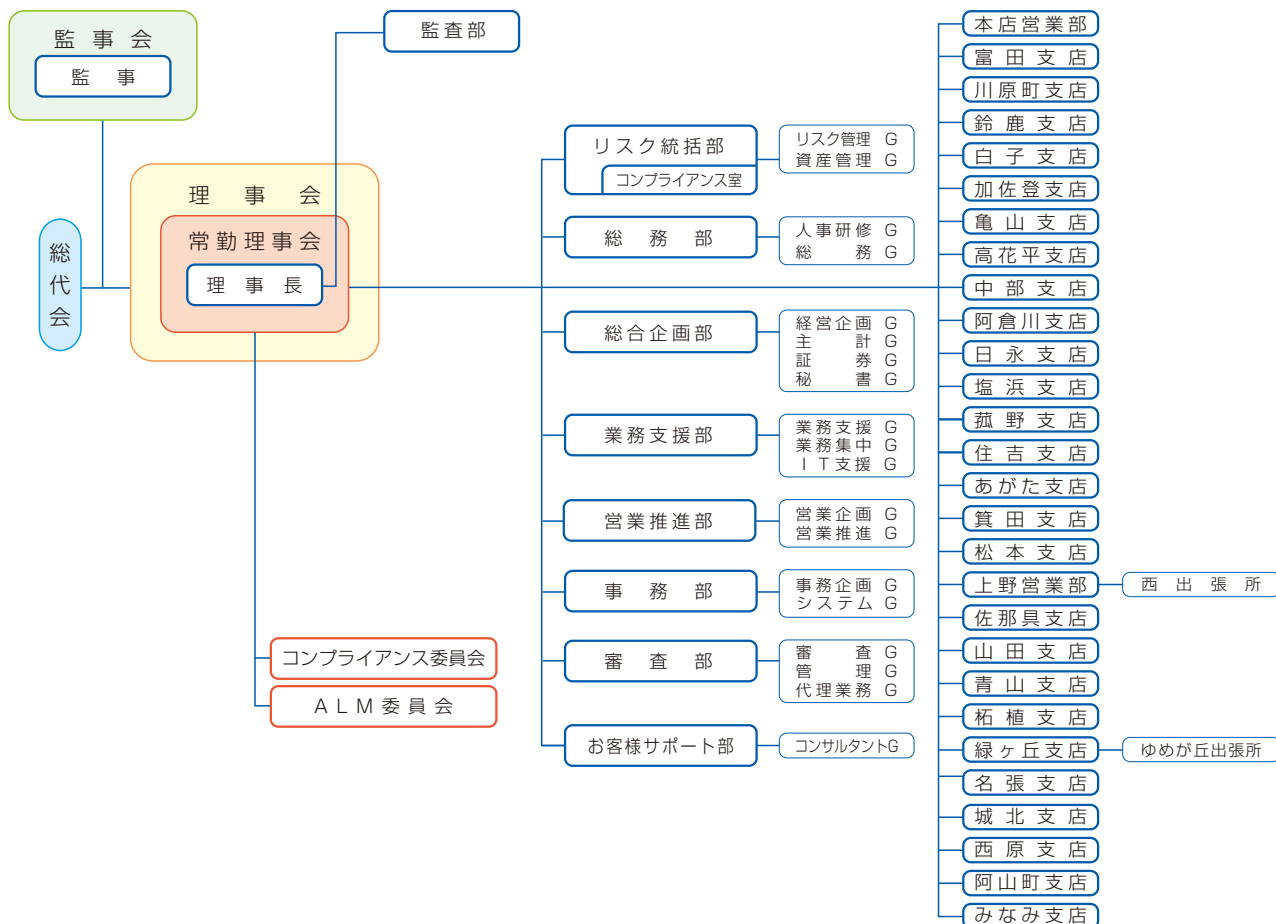
##### ■確定拠出年金業務

##### ■両替業務

##### ■電子債権記録業に係る業務

##### ■その他の法律により信用金庫が営むことのできる業務

### 組織図 (2021年6月末現在)



## 役員一覧 (2021年6月末現在)

会長	市川 克美	非常勤理事	廣田 武
理事長	南部 和典	非常勤理事	山本 忠之
専務理事	滝川 康夫	非常勤理事	田山 雅敏
常務理事	磯山 喜広	常勤監事	野村 武男
常勤理事	磯部 典亮	非常勤監事	中島 滋泰
常勤理事	武岡 恒	非常勤監事	岩佐 憲治
常勤理事	安藤 敦子		

(注1)非常勤理事は、職員外理事です。

(注2)非常勤監事 岩佐憲治は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

## 報酬体系について

### 1. 対象役員

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象役員」は、常勤理事および常勤監事をいいます。対象役員に対する報酬等は、職務執行の対価として支払う「基本報酬」および「賞与」、在任期間中の職務執行および特別功勞の対価として退任時に支払う「退職慰労金」で構成されております。

#### (1) 報酬体系の概要

##### ○基本報酬および賞与

非常勤を含む全役員の基本報酬および賞与につきましては、総代会において、理事全員および監事全員それぞれの支払総額の最高限度額を決定しております。

そのうえで、各理事の基本報酬額につきましては役位や在任年数等を、各理事の賞与額については前年度の業績等をそれぞれ勘案し、当金庫の理事会において決定しております。また、各監事の基本報酬額および賞与額につきましては、監事の協議により決定しております。

##### ○退職慰労金

退職慰労金につきましては、在任期間中に毎期引当金を計上し、退任時に総代会で承認を得た後、支払っております。

#### (2) 2020年度における対象役員に対する報酬等の支払総額115百万円

(注1)対象役員に該当する理事は7名、監事は1名です。

(注2)上記の内訳は、「基本報酬」115百万円です。

(注3)使用人兼務役員の使用人としての報酬等を含めております。

#### (3) その他

「信用金庫法施行規則第132条第1項第6号等の規定に基づき、報酬等に関する事項であって、信用金庫等の業務の運営または財産の状況に重要な影響を与えるものとして金融庁長官が別に定めるものを定める件」(平成24年3月29日付金融庁告示第22号)第2条第1項第3号、4号、6号ならびに第3条第1項第3号、4号、6号に該当する事項はありませんでした。

### 2. 対象職員等

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象職員等」は、当金庫の非常勤役員、当金庫の職員、当金庫の主要な連結子会社等の役職員であって、対象役員が受ける報酬等と同等額以上の報酬等を受ける者のうち、当金庫の業務および財産の状況に重要な影響を与える者をいいます。

なお、2020年度において、対象職員等に該当する者はいませんでした。

(注1)対象職員等には、途中で退任・退職した者も含めております。

(注2)「主要な連結子法人等」とは、当金庫の連結子法人等のうち、当金庫の連結総資産に対して2%以上の資産を有する会社等をいいます。

なお、2020年度においては、該当する会社はありませんでした。

(注3)「同等額」は、2020年度に対象役員に支払った報酬等の平均額としております。

(注4) 2020年度において対象役員が受ける報酬等と同等額以上の報酬等を受ける者はいませんでした。

## 職員の状況

	2018年度末	2019年度末	2020年度末
職員数	359人	351人	340人
男	209人	204人	196人
女	150人	147人	144人
平均年齢	42歳4ヵ月	42歳2ヵ月	42歳10ヵ月
平均勤続年数	20年6ヵ月	19年7ヵ月	20年2ヵ月

# 当金庫について

## 総代会について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。しかし、当金庫では会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、総代懇談会を実施するなど、日常の事業活動を通じて総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

### 総代とその選任方法

#### 総代の定数・任期・選任区域

総代の定数は70人以上100人以内とし、任期は3年です。

総代選任区域は7区域に分かれています。

なお、2021年6月末現在の総代数は83名で、会員数は31,027人です。

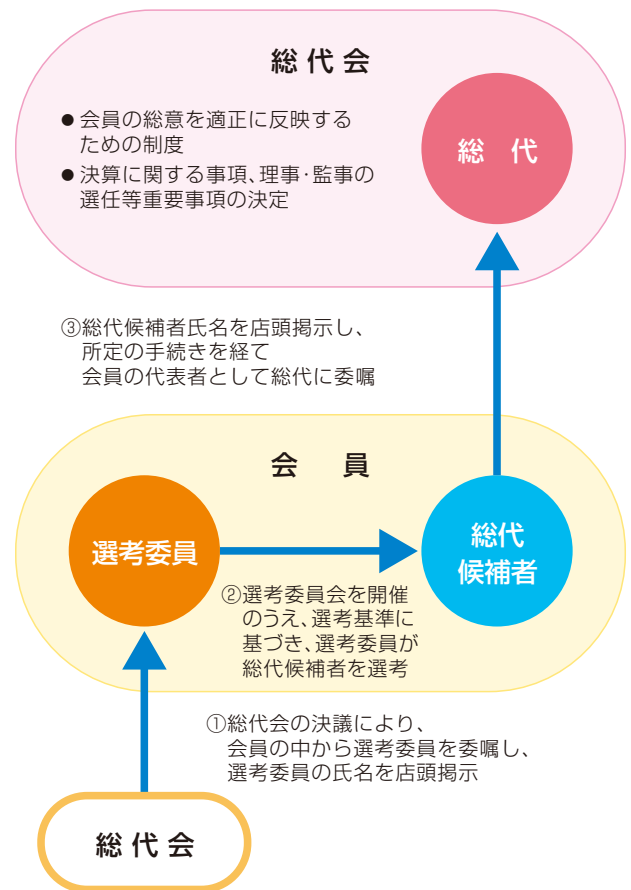
#### 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ①総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任します。
- ②選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考します。
- ③上記②により選考された総代候補者を会員が信任します。  
(異議があれば申し立てることができます。)

#### 総代候補者選考基準

- 1.資格基準
  - ・当金庫の会員であること
  - ・就任時点で75歳を超えていない者
- 2.適格基準
  - ・総代としてふさわしい見識を有している者
  - ・良識をもって正しい判断ができる者
  - ・人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している者
  - ・その他総代選考委員が適格と認めた者



### 第93期通常総代会の決議事項

2021年6月15日に開催された第93期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認可決されました。

#### I. 報告事項

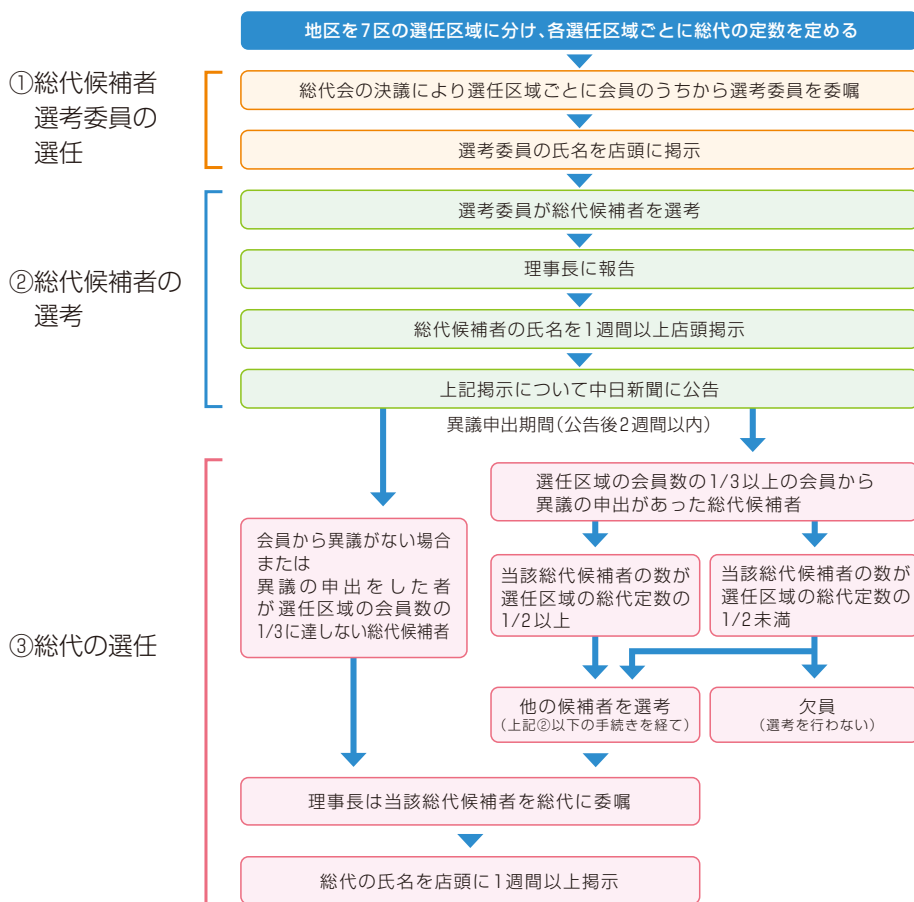
第93期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書報告の件

#### II. 決議事項

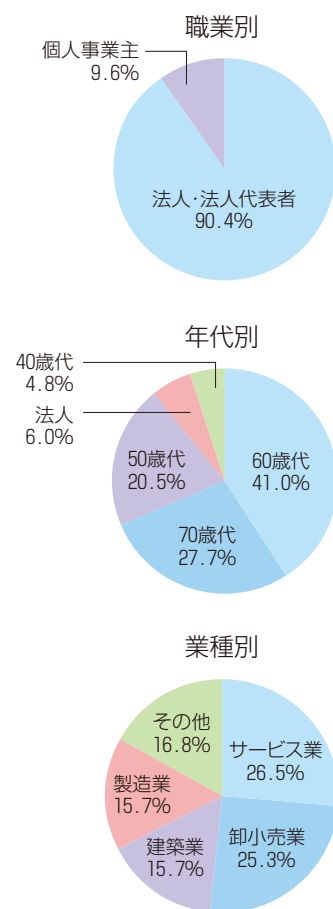
- |       |                  |       |             |
|-------|------------------|-------|-------------|
| 第1号議案 | 第93期剰余金処分(案)承認の件 | 第4号議案 | 会員の除名に関する件  |
| 第2号議案 | 理事任期満了に伴う選任の件    | 第5号議案 | 役員退職慰労金支給の件 |
| 第3号議案 | 監事任期満了に伴う選任の件    |       |             |



## 総代が選任されるまでの手続き



## 総代の属性等別構成比



## 総代の氏名等 (2021年6月末現在)

区	域	氏名
1区 (20人)	四日市市 (中部、常磐、日永、四郷、内部、塩浜、 小山田、川島、神前、桜、河原田、水沢、楠)	浅井東海物流株式会社⑧ 岩間英二⑥ 岡本史生③ 神田統行⑤ 佐々木薫子③ 佐野行廣⑧ スーパーサンシ株式会社③ 仙田博士⑧ 豊田晃⑥ 生川正洋⑧ 松林五男⑥ 三重茶農業協同組合⑧ 水谷真司④ 見取誠二① 村山俊司⑥ 吉田泰宣⑧ 渡邊大雄④
2区 (12人)	四日市市 (富洲原、富田、羽津、三重、県、八郷、 下野、大矢知、保々、海蔵、橋北)	伊藤誓英④ 今谷勝⑥ 太田基己⑧ 河邊毅寿⑧ 児玉光輝⑤ 中野貴文⑥ 中村勉④ 萬古陶磁器卸商業協同組合⑧ 萬古陶磁器工業協同組合⑧ 藤井由幸⑧ 前川恭範⑥
3区 (4人)	桑名市 いなべ市 桑名郡 員弁郡 三重郡	木村俊哉① 佐藤正廣⑥ 中澤秀之⑦ 松村賢治④ 柳昭広①
4区 (14人)	津市 鈴鹿市 亀山市	岡部勇⑧ 河村俊① 佐藤左恭① 清水保政⑤ 新美平和⑥ 諏佐芳文⑥ 竹口久兵衛⑥ 谷岡道信⑥ 生川泰成③ 二井栄③ 長谷川照義⑥ 平野幸樹① 堀田誠① 箕浦逸男⑥ 若林太郎① 渡邊尚俊⑤
5区 (15人)	伊賀市(上野東部、上野西部、上野南部、 小田、久米、花之木、長田、新居、三田、諏訪、 府中、中瀬、友生、猪田、花垣、ゆめが丘、島ヶ原) 奈良県奈良市月ヶ瀬 山辺郡	池澤一晃① 石橋弘彰④ 石橋正行⑧ 上田常雄⑤ 大田勲① 奥田久幸⑥ 菊野善久③ 須川輝之① 富田賢一⑥ 廣井一夫⑥ 堀川一成⑦ 保田耕三郎⑥ 山口隆② 山本禎昭③ 吉増浩志⑥ 脇義宣⑧
6区 (11人)	伊賀市(依那古、比自岐、神戸、きじが台、古 山、阿保、上津、博要、高尾、矢持、桐ヶ丘) 名張市	植田勇太郎⑧ 寺門忠義① 富永修④ 花本克則④ 東田行泰① 福岡清政⑧ 福田博行⑧ 藤室伸一③ 藤原敏男① 松原克文⑧ 結城好一⑥
7区 (7人)	伊賀市(柘植、西柘植、壬生野、河合、鞆田、 玉滝、丸柱、山田、布引、阿波) 滋賀県甲賀市	左橋由次⑤ 中尾彰克③ 藤本久光⑥ 前田三千治⑥ 松崎茂⑦ 宮田耕一⑥ 數本收③

(注)丸数字は平成16年1月19日以降の就任回数を記載しております。

(五十音順・敬称略)